

# 月報アルバム



ソ連科学アカデミー天文部副会長の A.G. マセビッチ女史は、人工衛星を日ソで同時観測してこれを測地に利用する計画の打合せのためこの程来日し、東京天文台、海上保安庁水路部、国土地理院などを来訪した。

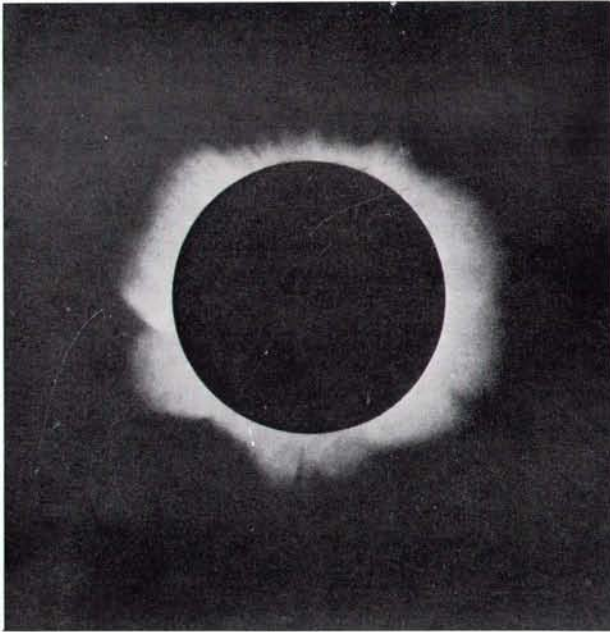
(上)は東京天文台談話会にて、(中)は堂平観測所ペーカー・ナン・カメラにて、左より関口・広瀬・マセビッチ・富田の諸氏。



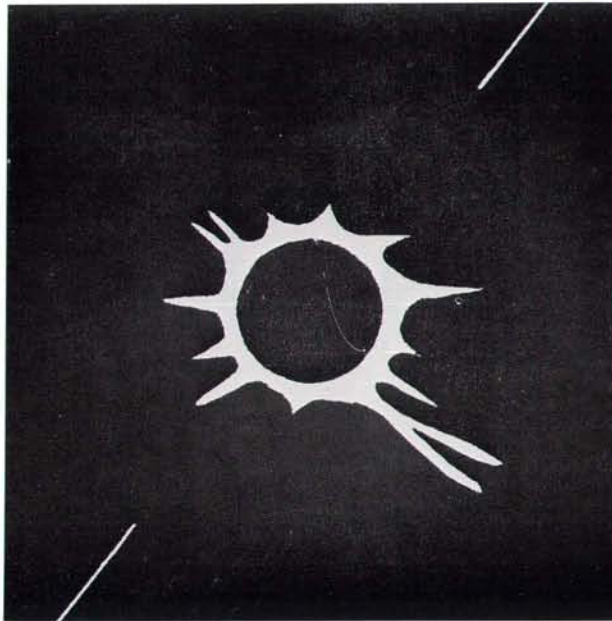
ウィーン交響楽団の第一バイオリン奏者、フリュアウフ(左)とシュミット(左から三番目)が天文台を訪問された。案内は森本(左から二番目)、右端は通訳。



明治20年の皆既日食



内務省地理局中央気象台長 荒井  
郁之助が観測した太陽コロナ写真  
(Memoirs of the Royal Astr. Soc.,  
49 卷, 271, 1887/89 より転載).



新潟県南蒲原郡東大崎村, 永明寺  
山にて文部省編輯局長伊沢修二が描  
いたコロナスケッチ.



新潟県南蒲原郡三条市東大崎  
永明寺山にのこる「観測日食碑」  
うらに「明治 20 年 9 月建之 内  
務省」とある。

(昭和 43 年 9 月うつす)



福島県白河町小峰城趾内のトッド一行の日食キャンプの写真。  
右端中央の建造物が水平望遠鏡である。(トッド夫人の著書(1894)より)